

【昇段試験】

- ・日時 2026/7/26(日) ※10:00～13:00 の稽古時間中に実施
- ・場所 長与町武道館柔道場
- ・審査対象 参段 1 名、式段 4 名、初段 2 名

【行事】

気和会主催 佐原文東先生講習会

- ・日時 ①2026/7/19(日) 14:00～16:00(受付 13:30)
②2026/7/20(月・祝) 9:30～11:30(受付 9:00)
- ・場所 長崎市諏訪体育館 (長崎市上西山町 19 番 15 号)
- ・参加 7/19(酒井, 徳永, 西坂) 7/20(濱田館長, 村里, 酒井, 徳永, 西坂, 丹野(見学) 吉田(敬称略))
※感想は会員投稿 2 をご覧ください。
- ・講習会後の懇親会
場所 扇町公民館 13:00～17:00
参加 濱田館長, 村里, 平井, 徳永, 吉田(敬称略)

【行事予定】

北星館講習会

- ・日時 2026/8/23(日) 10:00～12:00
- ・場所 長与町ふれあいセンター(西彼杵郡長与町高田郷 2053-3 <tel:095-855-8128>)
- ・内容 演武会映像の鑑賞ほか

会員投稿 1 「日本合気道普及連盟・2026 年度夏季交流会」N さんからの投稿です

R8.6.28 合気道連盟交流稽古 in 佐賀に参加してきました。

今回わが北星館から、濱田館長・村里先生を始め 11 名が参加しました。

今回の指導者は、育翔館の木村先生、陽聖館の野口先生がされるとのことで、パワフルなお二人からどのような稽古が受けられるか楽しみにしていました。

いざ稽古が始まります。ざっと見渡して 50 名近くの参加者がいる中、真ん中で堂々と指導されている先生はさすがに迫力があり、かかり稽古(一人ずつ順番に先生の手を取りに行く指導)の時には、緊張と期待で胸がいっぱいでした。

呼吸力から始まり、技に至るまで、細かい動きと柔らかさを教わりました。育翔館の生徒さんと組む機会があり、相手に手を取らせ反対側にさばくといった呼吸力の稽古では、始めは「違う。力で引っ張っている。」と言われましたが、最後の方には「そうそう。始めと全然違う。」と褒めていただきました。ゆっくり丁寧に技をかけることの方が難しいことを教わり、この感覚を記憶しておこうと思いました。(すぐに忘れてしまうのですが(笑))

終わってみると、想像していたアグレッシブな稽古ではなく、先生方のお言葉は合気道への愛が溢れており、私にとって充実した交流会となりました。

道中、私が休憩場所にスマートフォンを忘れてしまい、Y 先生に車で引き返してもらうハプニングが起きましたが、置き忘れても届けてくれる日本の治安の良さを身に染みて感じた日でもありました。Y 先生、本当にありがとうございます。

その他、佐賀までの往復を運転してくださった方、お世話になりました。ありがとうございます。

会員投稿2 「佐原先生講習会参加レポート感想」 村里さんからの投稿です

7月26(日)、27(月)に気和会主催の清心館・佐原文東先生の講習会がありましたので、その感想を投稿します。

北星館からは26日に酒井さん、徳永さん、西坂さんが参加、27日には濱田館長、吉田さん、酒井さん、徳永さん、西坂さん、村里が参加し、丹野さんが見学で参加しました。2年前にも講習会があり、その時にも感想を投稿し佐原先生の紹介をしましたが、改めて再度紹介します。

佐原先生はあの高名な山口清吾師範に長年師事し現在合気会7段、合気道の他にも柳生新陰流、鹿島神流等の古流剣術、八極拳、八卦掌、太極拳等の中国拳法も極められており、体術だけでなく禅の修行もしておられて本も何冊か出されておられて、合気道会の中でも高名な先生のおひとりです。

下名は27日のみの参加でしたので、27日の感想を述べたいと思います。参加者は約40名程度、前日もそのくらいだったとのこと。

一つ一つの技というよりも、相手が崩れる原理や仕組みを主に説明されていたので大変参考になりました。色々教えていただいたのですが、特に印象に残っていることを何件か紹介したいと思います。

まずは、相手の中心をとらえるということです。正面打ちで相手をとらえて先生が前進すると相手は背中を反って倒れてしまいます。逆に中心を少しずらすと相手がずっと前に出るのでそこで一か条や入り身投げが簡単に決まります。理屈ではわかっていますが、実際にやってみると相手は全く自分の思い通りに動いてくれません。先生にかけてもらおうと中心を外されたときは思わず前に動いてしまいます。多分、微妙な間や体重移動があるのだと思います。

次に見切りの技術に驚きました。正面打ちで打ち込むのですが、先生は片足に重心を載せてこちらが打つときに後ろの足に重心を移し、すかさず前の足を踏み込みこちらの頭をポンと打ちます。

こちらとしては先生を正面打ちで打ったらすかさず、その瞬間に頭をポンとされるため、非常に不思議な感じです。もし、刀だったら一巻の終わりです。これは敵の手刀を紙一重で見切り、精緻な体重移動で初めてなしえるもので何気ない技ですが、達人の技と感じました。

我々が同じ技をすると、どうしても頭を後ろに反ってかわし、そのあと前に出て打つので1テンポ、2テンポ遅れてしまいます。これは後ろにかわした技ですが、左右も同じようにやっておられました。

最も驚いたのが入り身の技です。こちらが先生の手を取ると先生がそのままこちらの側面に入ります。その時にはとった手が延ばされ、体が前方に傾いた状態になります。その時、先生が軽く肩を押すのですが軽い力なのに完全に腰から砕けてしまいます。これは衝撃的な出来事でした。下名も合気道は30年以上やっており普通の人から技をかけられても簡単には崩れない自信もありますが、これはこらえるとかいうレベルではなかったので衝撃でした。

最後に、これは前回もかけていただいたのですが、大東流でよくある合気上げをかけていただきました。これはお互い正座で向かい合ってこちらが相手の手首を上から抑えるのを上げる稽古ですが、普通に考えても上がるわけはありません。横から手を取るのは普通北星館でもやっていますし手首を巻き込んで相手を上げるのは意外と簡単ですが、上から抑えるのは難しいです。失礼ながら上から渾身の力を込めて押さえましたが、先生の指の先から持ち上げられる感じで浮いてしまいました。もちろん、ヒョイという感じではなく、ゆっくり確実に持ち上げられたので、逆にこれは本物だなと思いました。

吉田さんも私と同じようにあげられていました。残念だったのは濱田館長が私もやってもらおうと来た時に先生と目が合わず技をかけてもらえなかったことです。濱田館長があげられたら佐原先生がすごいし、濱田館長が止めることができたなら我々も嬉しいし、世紀の一戦を見逃した思いでした。

私は一日だけの稽古でしたが、普段会ったことのない他の道場の人たちと稽古することは、とても有意義なものでした。自分の実力が通用するか、自分の実力はどこら辺にあるのか等とても勉強になりました。

ここだけの話ですが（誰でも見ることができるのにここだけの話もないですが）北星館で呼吸力の稽古をしていれば他の道場の方にも十分通用します。（あくまでも呼吸力です。技が素晴らしい道場はたくさんあると思います。）皆さんもこういう機会があればぜひ参加することをおすすめします。

余談2ですが、稽古終了後有志で扇町公民館にて反省会を開きました。
これがまた、稽古以上に面白かったことを追記しておきます。次回は皆さんも是非！

余談3ですが、私の大好きな作家東野圭吾さんがお亡くなりになりました。

私と同じ68歳の若さです。「容疑者Xの献身」はミステリーの奥深さを「手紙」では加害者家族の苦悩を知りました。「秘密」では、本を読んで初めて切ないという気持ちになりました。

これから東野圭吾さんの作品を読めないのは非常に残念です。ご冥福をお祈りします。

編集後記

これまでに「暑熱循環」を心掛け、猛暑、酷暑に備えるためにも稽古を続けてきましたが、連日の猛暑でさすがにまいってきましたね。外での活動も太陽を避けるようにして、日が高いときは巣ごもりしています。

昇段試験が行われました。暑い中、試験に備え稽古をしてきた皆さん、お疲れ様でした。

そして合格おめでとうございます。これから熊本での演武会の練習もあるでしょうが、熱中症を警戒しながら、無理せずに稽古を続けていきましょう。